

I. 附属病院の理念・目的・目標

1. 附属病院の理念

大分医科大学医学部附属病院は、昭和56年10月の開院以来、「あたたかい最良の医療を」をモットーとしてきたが、平成6年11月に高度先進医療を提供する特定機能病院として位置付けられたに伴い、「高度かつ先進的な医療の実践と推進を通じて、医学教育と研究に寄与する」を付加した。その後、平成11年10月の「病院改革5ヵ年計画書」策定時の見直しを経て、平成13年6月に次のとおり定めた。

理 念

「患者本位の最良の医療」を基本理念とする。さらに、高度先進医療の開発と提供をとおして、倫理観豊かな医療人を育成し、地域社会の福祉に貢献する。

2. 附属病院の目的

- 一、患者本位の医療を実践する。
- 一、医学、医療の発展と地域医療の向上に努める。
- 一、教育、研究、研修の充実を図る。
- 一、病院の管理・運営の合理化を推進する。

3. 附属病院の目標

- (1) 高度先進医療を開発し、高度な医療を提供する。
- (2) 医療事故のない良質な医療を提供する。
- (3) 診療情報をわかりやすく提供し、受診者が満足する医療を提供する。
- (4) 救急医療体制の充実を図る。
- (5) 急性期医療のみならず緩和医療を実践する。
- (6) 地域に開かれた病院として、医療提供のみならず健康増進、疾病予防を推進する。
- (7) 地域の医療・福祉機関との連携を密にする。
- (8) 医療従事者の研修の場としての機能を充実する。
- (9) 管理・運営を工夫し、合理的な病院運営を図る。